

くめじま

議会だより

2019.9.2

No.69



「第2回久米島町議会報告会・意見交換会(久米島のまちづくり)」

久米島の人口・世帯数(2019年6月末現在)

男:4,162人 世帯数:3,995世帯
 女:3,648人
 計:7,810人

6月定例会

- 特集・
 議会報告会・意見交換会 …… 2~4P
 定例会・臨時会で決まったこと …… 5P
 町政を問う 一般質問 …… 6~15P
 議会のうごき …… 16P
 傍聴に行こう …… 16P

意見交換会を開催



議会報告会・意見交換会を6月26日(水)、イーフ情報プラザで開催しました。今回の議会報告会では、議会の活動状況を報告し、広く町民と意見を交わしました。合計100人の町民の方が参加しました。

開催の趣旨

議会の監視機能や議会活動の状況を町民に直接報告・説明し、情報の提供や議会活動に対する批判や意見、町政に対する提言などを直接聴取することで議会の機能を高める趣旨で開催しています。

第1回久米島町議会報告会 要望・回答

① フェリーの車両運賃往復割引、流通コストの改善を



司会・受付及び会場準備も議員自ら行いました。

【回答】事業所と意見交換を行ったが、大変厳しい返答であった。引き続き意見交換を重ね、改善に向けて取り組む。

② 求人情報窓口の一本化に

【回答】企画財政課の島ぐらしコンシェルジュにて一本化の作業を行っている。雇用関係助成金は商工会、ハローワークとの連携が必要なため、商工観光課。求人情報は企画財政課。

③ 学童保育の充実を

【回答】「風の帰る森」の施設で、令和2年4月開所予定。

④ 里帰りした子供達が町営塾を利用できるように要望

【回答】現在は、生徒個々の授業カリキュラムを組んでいるため、一時的な子供供達への授業対応は厳しい状況。今後要望があった場合は、塾講師と事前調整を行い、可能な限り対応する。

⑤ 町営バス運賃、バス停の間隔、運行時間等の見直しを

【回答】町営バス運賃、バス停の間隔、運行時間等は、地域の実情や実態を踏まえて設定。町民のニーズを受け、現状を検証・分析して検討する。



意見交換会

意見交換では主に16点の意見・要望がありました。

質問 堆肥センターについて

回答 役場も実態は把握しているのですが、役場と現場より4名を津嘉山へ技術向上を目的に視察し、以前、久米島堆肥が金賞をとって注目された当時の担当が津嘉山に居るので、彼から再度指導を受ける。この件につきましては、良質な堆肥を早い時期に供給できるように要請する。

質問 人口減少を止めるために、最優先した方がいい施策は

回答 集落・自治体の限界になっている可能性があり、全国的にも人口減少になっていて、人口の確保が必要であるので、基本構想に沿って、我々議会も行政、町民の皆様と一緒に、人口減少に歯止めを第1重点目標に向かって共に頑張っていきたいと思う。

質問 生物多様性遺伝資源保護条例の制定を

回答 沖縄県の動向も見ながら、久米島町議会としても検討する。

質問 地域懇談会を字毎に開催することを要望

回答 各公民館で出来るかどうか、議会の方で検討させていただきます。

質問 議員定数の検討を

回答 11月改選後、新しい議員が誕生しますと、その中で議員定数調査特別委員会を立ち上げ、検討していきたい。

質問 民泊事業について「グループ分けして相談ができる体制を」

回答 陳情があった際は、各常任委員会協議し、観光協会や町民側が努力すべきところもしつかりやっていく必要がある。

質問 赤土流出問題に関してどう考えていますか

回答 議会の方に陳情、請願を出してもらえば、委員会で議論し、議会に取り上げるといろいろ話し合われます。又、全国的に問題ですので、条例を設定し耕作したら必ずベチバーを植える事を義務づければ効果があると思う。

質問 子どもの貧困問題について、久米島町の運用を

回答 運用の面で、離島の子供だからとか、生まれた時から、親の所得の格差の中

で、差が出てくるといふ状況もあると思いますので、今年度から新しく町民課からも、おむつ関係の現物支給が出ていますが、福祉の施策、子育ての施策でこれまでの支援の形が今の久米島の現状にあっているかどうか、委員会ですっかり議論してから、町に提案なり、質問等を行っていききたいと思います。

質問 認定こども園、学童保育に関する財政的面と進捗状況について

回答 学童保育については、風の帰る森が、NPO法人を立ち上げ、来年4月から学童保育も併せて運営します。認定こども園については、平成29年度に実態調査・先進地視察し、令和4年度に中央保育所から行う予定です。子ども子育て会議において、認定こども園に移行することは決定している。

質問 限界集落について、アドバイスを。

回答 今年度は、この問題を解決するために、久米島自治会等町づくり支援検討委員会を設置して、検討していく。

質問 その条例を使って、島全体を良くするよう頑張ってください。

回答 平成27年度に久米島町議会活性化委員会を立ち上げて、議会改革を取り

組んでいます。議会基本条例を制定して、議会活動各々の議員力アップのために、議会全体で取り組んでいます。

質問 バーデハウス運営について

回答 この件につきましては、執行部から2回、議会で説明がありました。今後、議会として関心を持って注視していく。

質問 久米島の観光産業のあり方と低学年、幼児期からの支援について

回答 今年度、5年間の観光振興基本計画を立て、既存の物を利用しながら、環境を壊してまでの新たな開発ではない。我々議会も第二次基本計画を後押ししていこうと考えている。

低学年、幼児期からの支援については、参考意見として承る。

質問 農業用廃プラの金額について

回答 この料金は、前年度の実績、処理量、処分料、前年度の実績を農家、役場、農協3分の1ずつという形での算定となっているようです。値段に関しては、10キロあたり100円とは知らなかったもので、持ち帰って料金、運搬回数についても町は検討するという答弁だったので、回数が少ない

と不法投棄の原因にもなりますので、町へ料金面、運搬回数面を議会として、調整しながら、いい方向に持っていけるよう取り組みたいと思う。

質問 2〜3年分の一般質問の進捗状況は

回答 議会のその後の対応については、議員には配布されていますが、議会広報には載せていません。載せる方向で検討したいと思う。

質問 アンケート結果を公表してほしい

回答 町民からの要望というのは、議会でも中味を精査し、町長に要望するもの、ラジオ等で、町民に直接返していくものという風に考えています。公表しないのではなく、議会として考えていますので、足りないところがあれば、意見頂ければと思う。

質問と答弁の内容を要約して掲載しています。
※ここでは年号を省略しております。



吉永 浩 議員

問 海洋深層水取水設備強化は

答 官民両輪で建設目指す

吉永 県との意見交換の状況は。
町長 知事へ想いを伝え、副知事にも要請した。
吉永 要請内容は。
副町長 県担当部局の参画及び県職員の配置について要請し前向きな回答を得た。
吉永 町長は今年が一番の山場であると言うが、今年度の想定は。
町長 2年度予算に調査費を計上する目標で検討をすすめる。
吉永 今後の町の動きは。
町長 町主体の推進会議を足させ、民間主体では海洋産業インフラ早期建設促進委員会の動きもある。官民が両輪で国・県に働きかけ、設備増強を目指す。
吉永 政策参与の動きは。
企画財政課長 国や各種経済団体の人脈を駆使し体制構築のため動いている。
吉永 もし、県の協力が得られなかった時の想定は。
町長 莫大な予算がかかるため、国・県・町で負担が必要。判断は難しいが、県の協力が得られないという結論ができた場合、国営の事業実施に向けた取組の考えもある。

問 地元高校進学率向上を

答 優位性と魅力を伝えていく



魅力化を取組む久米島高校

吉永 地元高校進学率向上の取組は。
町長 町営塾が本島の進学校や予備校にも引けを取らない対応が可能で魅力化に繋がると考える。
吉永 進学を決める判断材料の情報不足しているのでは。
教育長 久米島高校の優位性、魅力、前村基金や町営塾などの情報を生徒・保護者へ紹介している。しかし、十分な説明ができないという課題も。
吉永 島外高校進学に必要な

具体的経済的負担の調査と情報提供も必要では。

教育長 経済的負担の情報提供は今のところ考えていない。

吉永 島外高校の進学率が高くなったことの精査は。

企画財政課長 アンケート実施している。希望する学科がない。進学対策の不安、学習環境の不安などが上位。できることから対策を打つ。

吉永 今後の地元高校進学率の想定は。

企画財政課長 2020年以降は若干改善する予想。

吉永 今後の魅力化の取組は。

企画財政課長 町営塾の充実などを図る。

教育長 両中学校の先生方、小中学校保護者、生徒のみなさんに久米島高校の魅力を十分に伝える説明会を検討している。

町長 各家庭で真剣に話あってほしい。

他にもこんな質問

問 議会からの要望書の進捗状況は。

問 外来種対策の進捗状況は。



翁長 学 議員

問 完熟堆肥と回収

答 取り組む

翁長 堆肥センターは、今年3月まで結ファームが運営を行っていたが、4月以降は町が運営を行っている。以前から堆肥の回収遅れなどが指摘され、又農家の方から使いやすい堆肥を生産できないかという話がある。今後のセンターの運営計画を伺いたい。

産業振興課長 堆肥の回収は以前から指摘を受けていて、新たな堆肥置き場の屋根付施設を造らないとクリアできない。事業があるか県や関係団



町直営となった堆肥センター

体に問い合わせられている。

翁長 販売されている堆肥が完熟なのかどうかの認識は、種をまいても枯れてしまうという話があり、完熟ではないと、農家は言う。そこで、完熟堆肥を作るように。

産業振興課長 100%完熟堆肥となると、再度機関に出して、完熟堆肥を作れるように取り組む。

問 スポーツ合宿の現状は

答 誘致検討

翁長 プロ野球、実業団、学生等のスポーツ合宿の現状と今後の計画は、まずプロ野球のキャンプの見通しは。

町長 当該年度で決定されるため見通しは困難ですが、受け入れ環境の維持、向上に努め誘致継続に取り組む。

商工観光課長 キャンプが続く中で、球場に訪れる島民の数が、年々減っているのでキ

ャンプを盛り上げる必要もある。

翁長 実業団、学生の現状は。

町長 大学野球チーム6チーム、社会人が1チーム。

翁長 今後の競技場の計画は。

町長 競技場の計画については、基礎調査を29年度に実施しており、費用対効果においてきびしい結果が報告されている。

翁長 簡易的な施設で誘致できる競技もあると思う。特に投てき競技場は大きな場所があれば誘致は可能では。

町長 久米島高校の中村さんが、ハンマー投げで記録更新したニュースもあり、議論しながら進めて行く。

翁長 今後の誘致計画は。

町長 現時点において誘致計画はないが、受け入れ環境で可能な競技を模索しながら検討。

問 修理代電気料金は

答 可能か調整する



喜久村 等 議員

喜久村 防犯灯について、泊から宇根までの間(赤平)の一部の防犯灯の修理代、電気料金は美崎校区の三字で負担しているが、町が全部を負担する事は。

町長 集落外への新たな設置になる事から、電気料金は町負担となり、当該区間における同一の取扱いが可能か調査したい。

問 避難道路の整備は

答 関係部署と調整し検討する

喜久村 真泊の避難道路の延長事業計画は。

町長 予算の確保が厳しい状況で実現していない。今後検討する。

総務課長 一括交付金事業の優先度を総合的に判断し、前向きに検討する。



未整備な避難道路

問 チュラ福木の剪定を

答 年度内に調整する

喜久村 チュラ福木の剪定の計画は。

教育長 樹木医による樹勢診断を実施しており、今回の判断結果を基に年度内に剪定まで行えるよう調整する。



剪定が必要なチュラ福木



平良 弘光 議員

問 旧阿嘉集落の保全を

答 文化財の価値はある

平良 旧阿嘉集落周辺にはクルマエビの養殖場、阿嘉のひげ水などがあり、文化財へ指定する条件は整っているのではないかと。
博物館長 現在に集落跡には、屋敷区画、道の通り方、そして屋敷囲いに地元でとれた石を使用するなど、鳥島とか他の個所とは違った形で残されているように思う。福木などもかなり大きくなっている、それも他の文化財と比較しても遜色のない立派なものだと認識している。



保全が必要な旧阿嘉集落

平良 集落跡には3か所の拝所があり、現在も上下阿嘉で管理をされていて、年に2回婦人会を中心にお参りに行っている、しかし集落跡へ通じる道が荒れ放題で重い荷物を運ぶのに苦慮している状況である。そこで行政の責任で応急的に車が通れるように整備をすることはできないか。

町長 旧阿嘉集落出身者の方から送られてきた写真などを参考にしながら集落跡をどのように保存すべきか教育委員会を通して今後検討させたい。

平良 久米島高校への留学生をアパート賃などの助成を行い、家族ごと久米島へ移住させる手法を考えた。

町長 寮の定員以上留学希望者がいた本年度の状況からすると、家族同伴の移住と久米島高校への入学が理想だと考える。

問 空きアパートの活用を

答 親子移住をPR

町長 集落支援員2名は集落の活性化を図るために配置されている。今年度は字久間地を中心に取り組みでいく。

問 消防庁舎の耐震補修は

答 関係課と調整

平良 防災活動の拠点となる消防庁舎も築30年が経過し、耐震補強工事が必要である。

町長 関係課と調整を行う。



老朽化が進む消防庁舎



盛本 實 議員

問 限界集落化の対策は

答 「まちづくり支援検討委員会」を設置し検討する。

盛本 本町においては少子高齢化の加速により、32の自治会の内20の自治会が準限界集落である。このままの状況で推移すると、あと4～5年もすれば多くの限界集落、超限界集落へ移行が顕著に表れ地域行政の維持、伝統文化の継承のみならず社会的集団生活さえ困難になる恐れが出てくる。町としては早急に対策を講じないと久米島町自治体のそのものの崩壊を危惧されるが、今後の対策について伺う。

町長 地域コミュニティーのあり方については、今年度「久米島町自治会等まちづくり支援検討委員会」を設置し検討する。

盛本 集落支援員に配置については。

総務課長 先行して、字久間地集落に配置している集落支

援員の状況を踏まえ配置が効果的であるのかどうかを見極めながら判断する。

問 通学路の安全確保を

答 県へ要望を



歩道が未整備の為非常に危険な通学路

援員の状況（島島漁港入口）の間は清水小学校及び西中学校の通学路として利用されているが、歩道が未整備の為非常に危険な状況にある。通学路としての安全確保と一般市民の交通事故防止の観点から早急な整備が必要と思われるが、町としての対応について伺う。

町長 当該区間の整備については、沖縄県に対し要望及び意見交換を行っているが、各市町村とも県道バイパス道路を整備した区間については、旧道を市町村に移管する方針としており、久米島空港真泊線の新生橋から清水小学校の区間についても対象となっているが、本町としては整備後の移管を求めており、当該路線の整備については引き続き要望していく。

盛本 県道久米島空港真泊線の一部（新生橋～清水小学校）、宇根仲泊線の一部（具志川庁舎



玉城 安雄 議員

問 宿泊施設の整備を

答 県に継続して要請

玉城 島で出産できない現状や難病患者の島外医療施設での通院における宿泊施設の整備の可能性は。

町長 出産、難病等の本島内で通院等については様々な助成をしているが渡航費のみで抜本的な負担軽減にはなっていないのが現状である。

玉城 宿泊施設の整備については、県にも要請していると聞か。

町長 県では離島患者支援事業を実施しており特定の地域への宿泊施設の整備は考えていない。

玉城 県の事業、町の事業合わせても実質的な負担軽減に至っていない、町単独で取り組むべきでは。

町長 町としても宿泊施設は必要と考えている。ほかの離島も含め協議していく。

問 農業用廃プラの回収を増やせ

答 状況を見ながら検討する

玉城 農業用廃プラが4月より月1回堆肥センターでの受け入れにとなっているが、そ

の理由は。

町長 リサイクルセンター受託業者との委託契約も考えていたが、堆肥センターが町直営になることから協議会での協議の結果、堆肥センターでの受け入れとなった。

玉城 牧草用ラップや、ビニールハウス残材、農業用マルチ等廃棄量が多いが月1回では少ない、不法投棄の原因にもなりかねない、回数を増やす考えは。

産業振興課長 様子を見ながら回数を増やすことも検討する。

玉城 料金の設定については。
産業振興課長 30年度実績により、1キロ約90円、町、JA、農家で3分の1の負担、各30円である。

問 久米アイランド線の歩道整備は

答 事業メニューを調査

玉城 この工事は車道の改良で歩道の整備は含まないと前議会での答弁だが、現状の歩道についての見解は。

町長 本工事での改良は考えていない、観光地への重要な

アクセス道路でもあるので観光振興計画に沿った事業がなにか調査する。

玉城 観光道路として道路景観にも十分配慮してもらいたい。

問 カラス対策は

答 捕獲箱の改良で対応する

玉城 最近カラスが多くなっているが対策は。

町長 捕獲箱を設置し対策しているが捕獲数が激減している。捕獲箱の改良と新規の捕獲箱を設置する。



捕獲箱を設置しカラス対策

問 観光資源開発は

答 基本計画で取組む



赤嶺 秀徳 議員

赤嶺 自然を活用した観光名所が数ヶ所あるが、未開発の場所もある。未開発の調査と開発の余地は。

町長 開発前提の調査はない。第2次久米島観光振興計画で取組む。

問 航空運賃の低減は

答 低減率30%を目標に



航空運賃の低減率目標 30%目指す

赤嶺 近くて遠い古里、航空運賃の低減に向けた町の見解を改めて伺う。

町長 利用者負担の軽減や交流人口の促進等からも重要と捉え、改善に継続して取り組んでいるが、現在、県15%町が5%の20%の割引運賃で、十分な改善に至っていない。本町の重要課題として県へ要望し、低減率30%を目標に引き続き改善に取

り組む。

問 町管理の公衆トイレは

答 適正に管理を

赤嶺 町管理の公衆トイレの管理状況について伺う。

町長 町管理の公衆トイレ10ヶ所は、清掃は月曜日から金曜日まで毎日適正に行っている。



適正に管理された公衆トイレ

問 下水道工事の進捗状況は

答 23%が未整備

赤嶺 嘉儀山地区の下水道事業の進捗状況は。

町長 下水道事業について、現在、仲泊処理区100%、イーフ

処理区64%で全体77%整備済み、字銭田一部、山城・儀間・嘉手苅23%未整備、管布設工事進捗状況は、字銭田が約80%完了し、本年度交付金も前年度同等に近い予算にて2～3年遅れる。

問 町職員コンプライアンスは

答 職員・非常勤職員の研修実施を

赤嶺 町職員のコンプライアンスについて伺う。

町長 コンプライアンスの正しい知識を身につけることを目的に、29年度全職員対象、30年度非常勤職員対象、今年度は未受講者を対象に研修を実施する。

問 小中学校のクーラー設置は

答 12月末予定

赤嶺 小中学校のクーラー設置について、改めて伺う。

教育長 クーラー設置完了時期については、委託業務設計書の精査等に不測の時間を要し、当初予定よりも1ヵ月遅れの12月末の予定となっている。



仲村 昌慧 議員

問 収入未済額の完全解消を

答 徴収方法を議論する

仲村 町営住宅使用料の収納未済額が29年度決算で852万円となっているが、現時点で収入未済額と未納件数は。

町長 30年度末の収入未済額は753万円で、未納件数は10万円以上20万円未満は1件、20万円以上100万円未満は6件、100万円以上は3件となっている。

仲村 滞納整理をどのように行っているか。

町長 滞納整理については、滞納者の呼び出しを行い、生活状況を確認し、分納支払い等で滞納整理を行っている。

仲村 分割支払を履行していない者はいないか。

総務課長 滞納額については過去の分が非常に多くて、これまで適切に対処してこなかったのが原因であると思っている。去年から取り組みを強化しているところで、滞納額

の縮小に繋げていきたい。

仲村 町営住宅の使用料を納めないことは決して許されるものではない。法的措置をとり収入未済額の完全解消をすべきではないか。

町長 法的手段をとれば解消可能とは思う。その対応が十分にできなかったことは反省している。いろんな角度から検討しながら、徴収方法については内部で議論したい。

問 沖展の誘致を

答 他の展示会も含め検討

仲村 16年に本町で初めて沖展の選抜展が開催されたが、その評価はどうだったか。3年後の合併20周年の年内を目標に再度、沖展の選抜展を誘致することができないか。

町長 前回の沖展久米島選抜

展は、かねてから町民の要望に応える形で16年4月に9日間の日程で開催している。期間中は2100名余りの観覧者があり好評であった。合併20周年の開催については費用対効果、公益性、学習効果等の観点から沖展の誘致が可能かどうか、他の展示会も含め検討したい。



合併20周年に沖展誘致か他の展示会検討の博物館

問 久米島ギネスの設立は

答 前向きに検討する



喜久里 猛 議員

喜久里 子供達に島への郷土愛を育くむ為に、久米島ギネスの設立はどうか。

教育長 総合学習では、「久米島自慢をしよう」「久米島博士になろう」などテーマを決めて調べ学習をするが、学習が終了した後、次の発展学習に続かないことが課題だと考える。その課題を解決する方法として、「久米島ギネス」を手立てとして効果的な活動ができないか、前向きに検討を進める。

問 じんぶん館増設を

答 増設は必要だ

喜久里 じんぶん館が空いていないようだが、増設は必要ではないか。

町長 久米島高校への留学希望者が増える傾向にあることから寮の増設は必要だと考え

る。又、里親制度や親子移住の推進に努める。

問 海洋深層水取水施設は

答 県の対応を見極める

喜久里 海洋深層水取水施設の増設及び実施団体国営にできないか。

町長 国直轄による増設については、沖縄県の関係部局との対応を見極めた上で、その可能性も含めて、打診、要請の判断を行う。

問 交通安全協会の建物

答 代替施設を検討

喜久里 交通安全協会の建物は、築40年を過ぎ、剥離が目立つが、何らかの方法はとれないか。

町長 交通安全協会の建物については、老朽化が著しく補修が厳しい状況である。今後は、那覇地区交通安全協会と調整を図り、代替施設について検討する。



剥離が目立つ久米島交通安全協会



棚原 哲也 議員

問 泊フィッシャリーナの整備は

答 適切な管理に努める



手狭になっている泊フィッシャリーナ

棚原 泊フィッシャリーナの現状は非常に手狭になっている。増設の必要があると思う。増設の必要があると思う。増設の必要があると思う。増設の必要があると思う。増設の必要があると思う。

町長 利用者の増加から狭隘化が見られる。増設について県へ相談・要望を行い取り組んでいく。

棚原 27年9月にもほぼ同じような内容で質問している。整備について検討を進めていきたいと答弁がありました。



イーフ県道の無電柱化を要望中

それから4年経過しているが駐艇場、駐車場の拡幅ができていない。早めに改善してほしいという利用者からの要望もある。

商工観光課長 町として引き続き取り組んでいきたいと思う。

問 無電柱化の計画は

答 協議会へ要望

棚原 久米島一周線、イーフ地区の完了予定について沖繩県に確認したところ二年度に完了を予定している。

建設課長 完了年度の遅れにつきましては予算の確保、配分が縮小された件と同様に時間が要したということ、ずれている状況にある。二年度完了を予定している。

棚原 景観条例重点地域における電線の地中化の実現の可能性は。

町長 無電柱化路線に指定されるよう沖繩ブロック無電柱化推進協議会に要望している。

